# SSJDA Panel 共同研究について

東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センターでは，共同利用・共同研究促進のための事業として，SSJDA Panel に関する共同研究の募集を行います．SSJDA Panel は 2021 年 2 月より行われている確率標本抽出に基づくオンライン調査であり，2020 年 12 月末日時点で 20 歳から 39 歳の日本在住の人々に対し，2025 年までに職業，学歴，社会経済的背景（親の学歴や職業）などについてのベース項目をたずねています．標本抽出は 2 回行っており，2021 年は 100 地点から各地点 50 名（計 5,000 名），2022 年は 150 地点から各地点 44 名（計 6,600 名）を住民基本台帳から無作為抽出しています．ベースライン調査後，現在，2,033 名がパネルとして登録されており， 2027 年 2 月にオンライン調査を行います（前年までの実績から，75%を回収予定）．2026 年度の SSJDA Panel 共同研究プロジェクトでは， 2027 年 2 月に行われる調査の質問項目を公募し，それを用いた実証的社会科学研究を促進します．

## １．公募事項

2027 年 2 月に実施するオンライン調査の項目を公募します．

## 2. 応募資格

大学および公的研究機関の研究者，またこれらに準ずる研究者，大学院生，ならびに本センター長が適当と認めた者とします．学部生の申請はできません．

## ３．応募方法

（1）所定の申請書様式（ https://csrda.iss.u-tokyo.ac.jp/ssjdap/SSJDAPanel_form_jp.docx からダウンロードできます）に必要事項をご記入のうえ下記電子メール宛にお送りください．ご不明な点がありましたら，電子メールでお問い合わせください．

（2）メールの件名には「SSJDA Panel 共同研究申請」と明記してください．

〔宛先・問い合わせ先〕 infocsrda@iss.u-tokyo.ac.jp 担当：藤原翔

## ４．データの利用について

データは調査終了後に申請採択者に渡されます．すべての変数のあるデータセットが渡されますが，他の申請者の項目に関する変数は基本的には利用できず，申請された計画に沿った分析を行う必要があります．実証研究の蓄積のために，いかなる結果であっても，分析計画に沿った分析結果を報告する義務があります．分析結果は 2028 年 2 月までにディスカッションペーパー，紀要，投稿論文，学会大会，成果報告会あるいはそれに準ずる方法で報告してください．

**5. データの公開について**

すべてのデータは，個人情報と自由記述回答を除き SSJDA より公開されます.

**6. 応募締切**

2026 年 12 月 7 日（火）

**7. 選考と採否の通知**

本センターで審議・選考のうえ，最終決定します．選考結果は 2026 年 12 月 15 日（火）までにご連絡します．採択された場合には，調査実施に向けて調査項目やレイアウトの最終の確認を行います．採択後の大幅な追加や変更はできません.

**8. 共同研究の成果報告等**

研究の成果については，CSRDA Discussion Paper Series (https://csrda.iss.u-tokyo.ac.jp/english/international/DP/)や SSJ データアーカイブリサーチペーパーシリーズ(https://csrda.iss.u-tokyo.ac.jp/infrastructure/rps/)として報告していただきます．成果報告会前の学術雑誌や学会での報告も可能です．また，成果報告会を開催予定です．分析結果は 2028 年 2 月までにディスカッションペーパー，紀要，投稿論文，学会大会，成果報告会あるいはそれに準ずる方法で報告してください.

**9. 事前のデータの提供について**

これまで行った調査（Wave1 から Wave10 まで）の質問項目は，SSJDA Panel のウェブサイトから閲覧できます（日本語調査票のみ）.
https://csrda.iss.u-tokyo.ac.jp/ssjdap/call-for-proposals.html

また，これまでのデータを事前に確認したい場合は，SSJDA Panel 事務局までご連絡ください．ただし，データの使用目的は質問応募のための参考情報として用いることに限ります。採択前にデータの集計，分析結果を第三者に示すことはできません.